別紙様式３・エクセル記載用

塩販売見込数量等報告書記載要領（塩特定販売業者用）

１．報告書全般について

(1)	４月１日～３月 31 日の製造・販売数量を記載してください。 販売数量は、製品等の受渡しが終了しているものについてのみ記載してください。
(2)	数量はトン単位で記載してください。
(3)	１トン未満の数量は小数点第２位を四捨五入し、小数点第１位までを記載してください。
(4)	小数点第２位以下を四捨五入した結果、数量が「0.0」となる場合は、「0.0」と記載してください。
(5)	**見込（実績）が全く無い場合は、空欄としてください。**
(6)	「その他」に数量を記載した場合は、『「その他」の内容を記載⇒』に具体的な内容を記載してください。内容が複数ある場合は、「その他」に全ての内容の数量の合計を記載し、『「その他」の内容を記載⇒』に内容ごとの数量を記載してください。
(7)	黄色に着色されているセルにのみ記載できます。ただし、『「その他」の内容を記載⇒』のセルだけは、「その他」に数値が記載されており、かつ『「その他」の内容を記載⇒』が空白の場合に限って黄色く着色されます。
(8)	着色されていないセルは合計値などが自動的に記載されるように設定されています。編集しないでください。
(9)	シート「別紙様式３」に記載した①日付、②報告対象の年度、③提出先税関名、④登録番号、⑤事業者名の５項目は、記載内容が他のシートに反映されます。そのため、「別紙様式３」に記載する実績がない場合であっても、①～⑤の項目は記載してください。その他の実績のないシートについては何も記載せず、シートの削除をしないでください。
(10)	原産国が６か国以上に及ぶときは、ファイルを２つ作成し、２つ目のファイルに６か国目以降の実績を記載してください。
(11)	作成に当たっては、【付表２⇒付表３⇒別紙様式３⇒付表１⇒付表４】の順で作成することをお勧めいたします。

２．別紙様式３及び付表２について（記載要領１参照）

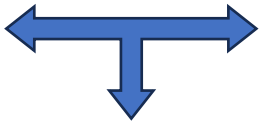
(1)	関税有税品と関税無税品でそれぞれ別々のシートに記載してください。実績や見込みのないものについては作成する必要はありません。ただし、「１．報告書全般について（９）」にも記載のとおり、関税有税品の実績がない場合でも日付・報告する年度・提出先税関名・登録番号・事業者名だけは記載してください。総計のシートについては、自動的に関税有税品のシートと関税無税品のシートの数量を合算して作成されます。
(2)	別紙様式３の「消費者への販売分」又は「自己使用見込数量」に数量を記載する場合は、付表１に内訳を記載してください。付表１に内訳を記載することで、別紙様式３に反映されます。
(3)	付表２の「消費者への販売分」又は「自己使用見込数量」に数量を記載する場合は、付表３に内訳を記載してください。付表３に内訳を記載することで、付表２に反映されます。
(4)	付表２の「８年度末在庫見込数量」と別紙様式３の「８年度末在庫見込数量」の数量を一致させてください。

↓次ページに続く

(5)	当該年度に製造等の見込がない場合であっても、在庫がある場合は、在庫数量欄及び在庫見込数量欄に数量を必ず記載してください。
(6)	原産国を記入するセルの位置は、関税有税品・関税無税品・総計の３シートで一致するようにしてください。 例：関税有税塩をアメリカ・メキシコ・オーストラリアから輸入し、関税無税塩を中国・メキシコ・インドから輸入した場合 関税有税品の原産国記入欄の左端からアメリカ（Ｅ列）・メキシコ（Ｆ列）・オーストラリア（Ｇ列）の順に記載するときは、無税塩の原産国記入欄のＦ列にメキシコ、Ｈ列に中国、Ｉ列にインドと記載し、総計のシートの原産国欄は左端からアメリカ（Ｅ列）→メキシコ（Ｆ列）→オーストラリア（Ｇ列）→中国（Ｈ列）→インド（Ｉ列）と記載してください。

関税有税塩のシート

	E列	F列	G列	H列	I列
原産国	アメリカ	メキシコ	オーストラリア		



関税無税塩のシート

	E列	F列	G列	H列	I列
原産国		メキシコ		中国	インド

総計のシート

	E列	F列	G列	H列	I列
原産国	アメリカ	メキシコ	オーストラリア	中国	インド

３．付表１及び付表３について（記載要領２参照）

(1)	付表１及び付表３の原産国を記入するセルは、別紙様式３及び付表２と以下のように一致させてください。 ○　付表１又は付表３（１枚目）の左端（Ｃ～Ｅ列）→別紙様式３又は付表２のＥ列 ○　付表１又は付表３（１枚目）の中央（Ｆ～Ｈ列）→別紙様式３又は付表２のＦ列 ○　付表１又は付表３（１枚目）の右端（Ｉ～Ｋ列）→別紙様式３又は付表２のＧ列 ○　付表１又は付表３（２枚目）の左端（Ｃ～Ｅ列）→別紙様式３又は付表２のＨ列 ○　付表１又は付表３（２枚目）の中央（Ｆ～Ｈ列）→別紙様式３又は付表２のＩ列
(2)	食品工業用、工業用、その他で「その他」に記載した場合は、下段の『「その他」の内容を記載⇒』に具体的な内容を記載してください。

↓次ページに続く

４．付表４について

付表２に記載した令和８年度の実績見込数量と令和７年度の実績数量を比較して 1,000 トン以上の差異がある場合は、その要因として考えられるものを、「考えられる理由（傾向）」に必ず記載してください。

また、「９年度見通し」は必ず記載してください。増加・横ばい・減少のうち該当する項目をチェックし、その理由も記載してください。

記載要領１（別紙様式３及び付表２）

区分			記載要領
○年度末在庫（見込）数量			輸入した塩のうち、当該年度の前年度末に在庫となる（見込）数量を記載する。 **※別紙様式３：見込（実績）が全く無い場合は、数式を削除して空欄とする。**
○年度受入（実績）見込数量			当該年度において、一般用塩として輸入する見込数量を記載する。
○年度販売見込数量	塩卸売業者への販売分		当該年度において塩卸売業者に販売する見込数量を記載する。
	塩製造業者への販売分		当該年度における塩製造業者に販売する見込数量を記載する。
	塩事業センターへの販売分		当該年度における塩事業センターに販売する見込数量を記載する。
	消費者への販売分（小売店への販売も含む）	生活用	主に小売店を通じて販売され、一般家庭及び生業用に消費される見込数量。 付表１又は付表３の「生活用」の数量が反映される。
		食品工業用	食品工業用として直接販売する見込数量。付表１又は付表３の「食品工業用」の数量が反映される。
		工業用	工業用として直接販売する見込数量。付表１又は付表３の「工業用」の数量が反映される。
		ソーダ工業用	ソーダ工業用として直接販売する見込数量。付表１又は付表３の「ソーダ工業用」の数量が反映される。
		融氷雪用	融氷雪用として直接販売する見込数量。付表１又は付表３の「融氷雪用」の数量が反映される。
		その他	上記の区分に当てはまらないものの数量。付表１又は付表３の「その他」の数量が反映される。
		合計	付表１又は付表３の合計と一致させる。
	その他	輸出	上記の販売先以外で輸出・減耗・その他に該当するものの見込数量を記載する。 また、「その他」に記載した場合は下段の「その他の内容を記載⇒」に内容を記載する。
		減耗	
		その他	
		その他の内容を記載⇒	
	合計		
○年度自己使用見込数量			当該年度において、自己使用する場合は付表１又は付表３を作成する。各付表の合計数量が反映される。
○年度末在庫見込数量			輸入する塩のうち、当該年度末に在庫となる見込数量。当該年度の受入数量と前年度末の在庫数量の合計から当該年度の販売数量と自己使用数量を引いた数量が自動的に記載される。

記載要領２（付表１及び付表３）

〇下記の表の内容を参考に記載する。

区分	内容（例）
生活用	家庭用及び飲食店等（生業用）において使用されるもの
食品工業用	（食品工業用に消費されるもの）
漬物	
みそ	
醤油アミノ酸	
水産	漁獲物塩蔵用、塩干魚類製造用、遠洋沿岸捕鯨用、魚類鮮度保持、切こんぶ等海水産物一次加工用
調味	ソース、食酢、マヨネーズ、ケチャップ、化学調味用原料塩、特殊用塩（食用以外は除く）
麺類	うどん、そば、マカロニ、スパゲティ、即席めん
パン・菓子類	パン類、菓子類、パン粉、落花生
加工食品	乳製品（バター、チーズ、マーガリン、ミルク、カルピス）、肉製品（ハム、ベーコン、ソーセージ）、練製品（かまぼこ、はんぺん、ちくわ、生揚、なんば焼）、つくだ煮（つくだ煮、支那竹の加工）、びん詰・缶詰（肉製品、海水産物、果実、野菜等のびん詰・缶詰）その他食品（カレーの素、スープの素、珍味加工、チャーハンの素等上記に属さない食品加工用）、ソーセージの皮、浅漬けの素等
その他食品工業	食料用で上記に属さないもの
その他の内容を記載⇒	「その他」の内訳を記載
工業用	（工業用に消費されるもの）
染料・顔料	合成染料、染料中間体、ハイドロサルファイト、人工色素、顔料、ベンガラ、塩化亜鉛
化学薬品	珪弗化ソーダ、塩素酸ソーダ、除草剤、青化石炭、代用甘味、その他化学薬品（試薬塩含む）
皮革	獣魚皮のなめし用、保存用
油脂	石けん、ロート油、乳化油、洗剤
イオン交換剤再生	砂糖の精製、硬水軟化、製紙・パルプ等のイオン交換剤再生用
その他工業用	工業用で上記に属さないもの（香料、冷却用、合成ゴム、火薬、窯業、鉱業、染色等）
その他の内容を記載⇒	「その他」の内訳を記載
ソーダ工業用	
融氷雪用	グラウンド、コート、融氷雪、道路等の塩処理用
家畜用	飼料として家畜に使用されるもの（家畜、家禽の栄養剤、鉱塩を含む）
医薬用	局方塩、浴用塩を含む
その他	食料用、工業用、ソーダ工業用、融氷雪用、家畜用、医薬用等に属さないもの（教材、研究用、試験用、農業用等）
その他の内容を記載⇒	「その他」の内訳を記載

別紙様式３

令和　　年　　月　　日

令和９年度 塩販売見込数量等報告書

税関長　殿

特殊用塩は含めないで下さい

登録番号

塩特定販売業者名

有税・無税・総計の別を記載する

［種類：　　］

（単位：トン）

科目 ＼ 原産国								合計
８年度末在庫見込数量								
９年度受入見込数量								
９年度販売見込数量	塩卸売業者への販売分							
	塩製造業者への販売分							
	塩事業センターへの販売分							
	消費者への販売分（小売店への販売も含む）⇒内訳を付表１へ	一般消費者（生活用）						
		業務用消費者	食品工業用					
			工業用					
			ソーダ工業用					
			融氷雪用					
			その他					
		計						
	その他	輸出						
		減耗						
		その他						
		「その他」の内容を記載⇒						
	合計							
９年度自己使用見込数量　⇒　内容を付表１へ								
９年度末在庫見込数量								

付表２の「８年度末在庫見込数量」と一致させる

２欄の合計をＡとする

付表１の各項目と一致させる

「その他」に数量を記載する場合は内容の記載も必要

この３欄の合計は上記のＡと一致させる

（備考）　１．種類は、「関税有税品」（例：精製塩等）、「関税無税品」（例：原塩等）及び「総計」ごとに別葉とする。
２．トン未満はすべて小数点以下第２位を四捨五入し、第１位まで記載すること。
３．「消費者への販売分」又は「９年度自己使用見込数量」がある場合は、付表１にそれぞれ別葉で内訳を記載すること。

別紙様式３付表１

令和　　年　　月　　日

令和９年度 用途別販売見込数量内訳

□消費者への販売分（小売店への販売を含む）
□ ９年度自己使用見込数量

チェックをつけて下さい

登録番号

塩特定販売業者名

税関長　殿

※表題のチェック欄は、作成する内容に印を付けること。また、数量の記載要領は、別紙様式３と同様とすること。

（単位：トン）

原産国											合計		
種類		関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計
生活用													
食品工業用	漬物												
	みそ												
	醤油アミノ酸												
	水産												
	調味												
	麺類												
	パン・菓子												
	加工食品												
	その他												
	「その他」の内容を記載⇒												
	計												
工業用	染料・顔料												
	化学薬品												
	皮革												
	油脂												
	イオン交換剤												
	その他												
	「その他」の内容を記載⇒												
	計												
ソーダ工業用													
融氷雪用													
その他	家畜用												
	医薬用												
	その他												
	「その他」の内容を記載⇒												
	計												
合計													

上記チェック欄が「消費者への販売分」の場合は様式３の「一般消費者（生活用）」と一致させる

「その他」に記載がある場合は内容の記載も必要

上記チェック欄が「消費者への販売分」の場合は様式３の各項目と一致させる

上記チェック欄が「９年度自己使用見込数量」の場合は様式３の「９年度自己使用見込数量」と一致させる

別紙様式３付表２

令和　　年　　月　　日

令和９年度　塩需給見通し策定に関する分析資料（塩特定販売業者分）

税関長　殿

特殊用塩は含めないで下さい

登録番号

塩特定販売業者名

１．令和８年度　塩特定販売実績見込数量等報告書

［種類：　　］　有税・無税・総計の別を記載する

（単位：トン）

科目 ＼ 原産国								合計
７年度末在庫数量								
８年度受入実績見込数量								
８年度販売実績見込数量	塩卸売業者への販売分							
	塩製造業者への販売分							
	塩事業センターへの販売分							
	消費者への販売分（小売店への販売も含む）⇒内訳を付表３へ	一般消費者（生活用）						
		業務用消費者	食品工業用					
			工業用					
			ソーダ工業用					
			融氷雪用					
			その他					
		計						
	その他	輸出						
		減耗						
		その他						
		「その他」の内容を記載⇒						
	合計							
８年度自己使用見込数量　⇒　内容を付表３へ								
８年度末在庫見込数量								

２欄の合計をＡとする

付表３の各項目と一致させる

「その他」に数量を記載する場合は内容の記載も必要

この３欄の合計は上記のＢと一致させる

様式３の「８年度末在庫見込数量」と一致させる

（備考）　１．種類は、「関税有税品」（例：精製塩等）、「関税無税品」（例：原塩等）及び「総計」ごとに別葉とする。
２．トン未満はすべて小数点以下第２位を四捨五入し、第１位まで記載すること。
３．「消費者への販売分」又は「８年度自己使用見込数量」がある場合は、付表３にそれぞれ別葉で内訳を記載すること。

別紙様式３付表３

令和　　年　　月　　日

令和９年度 塩需給見通し策定に関する分析資料（塩特定販売業者分）

チェックをつけて下さい

□消費者への販売分（小売店への販売を含む）
□８年度自己使用見込数量

登録番号

塩特定販売業者名

２．令和８年度用途別販売実績見込数量内訳

※表題のチェック欄は、作成する内容に印を付けること。また、数量の記載要領は、付表２と同様とすること。

（単位：トン）

原産国										合計		
種類		関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計
生活用													
食品工業用	漬物												
	みそ												
	醤油アミノ酸												
	水産												
	調味												
	麺類												
	パン・菓子												
	加工食品												
	その他												
	「その他」の内容を記載⇒												
	計												
工業用	染料・顔料												
	化学薬品												
	皮革												
	油脂												
	イオン交換剤												
	その他												
	「その他」の内容を記載⇒												
	計												
ソーダ工業用													
融氷雪用													
その他	家畜用												
	医薬用												
	その他												
	「その他」の内容を記載⇒												
	計												
合計													

上記チェック欄が「消費者への販売分」の場合は付表２の「一般消費者（生活用）」と一致させる

「その他」に記載がある場合は内容の記載も必要

上記チェック欄が「消費者への販売分」の場合は付表２の各項目と一致させる

上記チェック欄が「８年度自己使用見込数量」の場合は付表２の「８年度自己使用見込数量」と一致させる

別紙様式３付表４

令和　　年　　月　　日

令和９年度 塩需給見通し策定に関する分析資料（塩特定販売業者分）

登録番号

塩特定販売業者名

税関長　　殿

付表２の「令和８年度　塩特定販売実績見込数量等報告書」の記載内容について、令和７年度実績数量と比較して変動が大きい場合、その要因として考えられるものを、ユーザーの動向等具体的な理由を添えて項目別に記入してください。

なお、「７年度実績」欄には、令和７年度塩需給実績のために提出した「令和７年度 塩販売数量等報告書」に記載したものと同じ数量を記入してください。

（単位：トン）

項目		年度	数量	考えられる要因（傾向）	９年度見通し
輸入数量について		７年度実績			□増加　□横ばい　□減少
		８年度実績見込			（上記理由）
販売数量について		７年度実績			□増加　□横ばい　□減少
		８年度実績見込			（上記理由）
	うち塩事業センターへの販売分	７年度実績			□増加　□横ばい　□減少
		８年度実績見込			（上記理由）
自己使用数量について		７年度実績			□増加　□横ばい　□減少
		８年度実績見込			（上記理由）
年度末在庫		７年度実績			□増加　□横ばい　□減少
		８年度実績見込			（上記理由）